

8/6 箱根町から来町 中学生親善使節団と交流

町と姉妹都市提携を結んでいる箱根町から今年も中学生親善訪問使節団が訪れました。

今年は生徒6人が来町。役場で開かれた歓迎式では一人ずつ町内でやりたいことを発表し、洞爺湖でのカヌー体験などを心待ちにしている声が聞かれました。

代表して箱根中学校の清水愛笑倫さんが勝俣浩行町長からの親書を読み上げ、両町の交流促進を誓いました。



勝俣町長からの親書を読む清水さん

8/2 本町地区の一大イベント にぎわいまつり2025

洞爺湖町商工会、同青年部主催のにぎわいまつり2025&ビアガーデンが、役場前駐車場で行われました。

町民約2千人が来場し、子どもたちは、運試し企画へ挑戦するなど、歓声が響き、盛り上がっていました。大人たちも出店していたテントやキッチンカーを巡り、恵まれた天候の中、乾杯しました。イベント最後には、総額7万円分の商品券や温泉ペア宿泊券が当たる大抽選会があり、大盛り上がりでした。



運試し企画に挑戦する参加者

8/14~15 洞爺の夏の風物詩 とうや水の駅盆踊り

洞爺まちづくり観光協会主催のとうや水の駅盆踊りが、とうや水の駅ふれあい中央広場で2日間の日程で行われました。

制作からおよそ半世紀が経つ洞爺音頭を後世へ継承しようとするあゆむ世代の人が、広場に設置された洞爺音頭保存会の山車を中心に輪をつくり踊りました。広場で露店を楽しみ、館内ではお子様からお年寄りまでみんな一緒にゲームを楽しんでいました。



洞爺音頭を踊る参加者

8/8 温泉街の発展を祈願 薬師の日湯かたまつり

薬師の日湯かたまつりが、洞爺湖温泉地区の足湯パークで行われました。

始めに行われた祈願法要は、湯前薬師如来奉賛会の関係者など約40人が参列し、温泉街の発展を祈願しました。奉賛会の朝倉英隆会長は「温泉街は多くの訪日客で繁盛しています。もてなしの心を持ち、民間と行政で連携して対応します」とあいさつしました。

会場には焼き鳥などが並び、大勢のにぎわいました。



祈願法要に参列する参加者

8/26 人手不足解消に向けて 漁業者向けタイミー研修会

スポットワーク仲介アプリ「タイミー」を運営し、町と包括連携協定を結んでいるタイミー（本社・東京）の漁業者向け研修会が、いぶり噴火湾漁協協同組合本所で行われました。アプリを利用したアルバイトの確保について同社の担当者が説明。実際に働き手を確保した町内の漁業者からは「思った以上に人が集まった」などと効果が語られ、参加者がスポットワークを生かした新しい働き方について学びました。



タイミーの活用法などを学んだ説明会

8/24 鉄人たちが湖畔で熱戦 北海道トライアスロン

北海道トライアスロン2025が行われ、全国から集まった選手約270人が熱いレースを繰り広げました。珍小島近くのスタート地点に早朝から選手が集結。午前7時にレースが始まると、選手たちは一斉に湖に飛び込んでいきました。続く自転車、マラソンでも厳しい日差しにも関わらず力強い走りを見せていました。今回から水泳を除いた新コースも用意され、こちらも選手たちが接戦を演じていました。



好記録を目指してゴールを目指す選手

8/29 自然を学ぼう 桜ヶ丘保育所で環境学習

UWクリーンレイク洞爺湖の室田欣弘代表の環境学習が、桜ヶ丘保育所で開かれました。洞爺湖で捕獲されたウチダザリガニや、湖の中の写真などを見せ、外来種問題をわかりやすく解説。「外来種は家に持ち帰ってはいけません」との説明を聞くと、子どもたちも真剣な表情でうなずいていました。最後に洞爺湖のスジエビやウグイが贈られ、子どもたちは水槽を見て目を輝かせていました。



洞爺湖の外来種問題を学ぶ子どもたち

8/27 安心して過ごせる避難所のために 男女共同参画講演会

災害時の避難所運営について学ぶ男女共同参画講演会が、役場防災研修ホールで行われました。性差や心身の障害などに配慮した避難所運営をテーマとし、北海道防災教育アドバイザーの住友静恵氏を講師に招きました。住友氏は、外見からは障害の有無などが分からない場合もあるため、避難者に寄り添った支援の仕方を説明。被災者支援などの国際基準「スフィア基準」についても解説しました。



避難所運営について学んだ男女共同参画講演会